

「最高責任者」という言葉が大好きな首相の無責任

9月29日から国会が再開された。海外出張に疲れたのか覇気のない安倍首相の顔が映る。まずは国会に対応できるよう万全な体調維持に努めてほしい。答弁は相変わらずである。「民主党はできなかったじゃないですか」、「それは前政権である民主党の責任じゃないですか」とのいつもの答弁である。

2006年12月に共産党の吉井英勝議員は「巨大地震の発生に伴う安全機能の喪失など原発の危険から国民の安全を守ることに関する質問主意書 (http://www.shugiin.go.jp/Internet/itdb_shitsumon.nsf/html/shitsumon/a165256.htm)」を提出し、原発の安全対策について当時の安倍内閣に見解をたじた。

まさしくこれは、先の2011年3.11での津波による東京電力福島第一原発事故を予言した質疑である。これに対し時の安倍総理大臣が閣議決定として出した答弁書には「最高責任者として安全確保に万全を期してまいりたい」という弁が5回繰り返し記されていたという。しかし、これに対する対策は、ご推察どおり、何もされなかったという。それこそ、もしこのときに何らかの対策がなされていたら、今回のような大事故は発生しなかっただろう。これこそ「今回の原発事故で最大の責任を負っているのは当時の総理大臣の安倍シンゾウさんじゃないですか！」